



2004年12月期 決算説明会

2005年3月8日
株式会社エスピーエス
(証券コード 2384)
www.sbs-group.co.jp

目次

1. 2004年12月期実績概括
2. 2004年12月期業績実績
 - ・主要P/L項目
 - ・主要B/S項目
 - ・キャッシュフロー
3. セグメント動向
 - ・セグメント動向(数値)
 - ・セグメント動向(事業環境変化と企業の対応)
4. 2005年12月期業績予想
5. トピックス
6. 経営戦略
7. 成長目標
 - ・株式数の推移と配当政策

参考写真(ダックチラシ配布、横浜産業廃棄物処理施設)

1. 2004年12月期実績概括

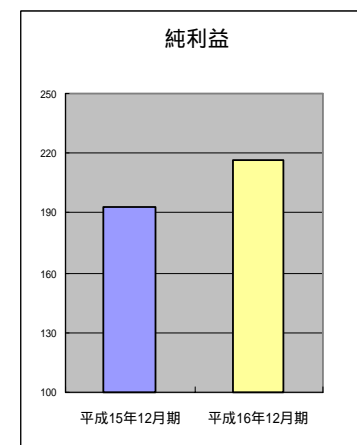
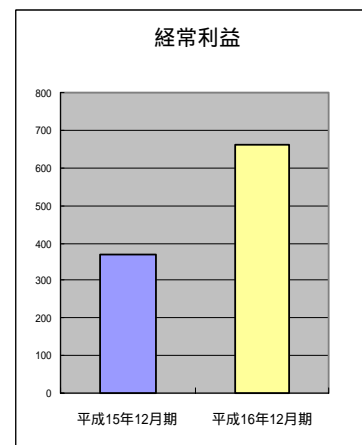
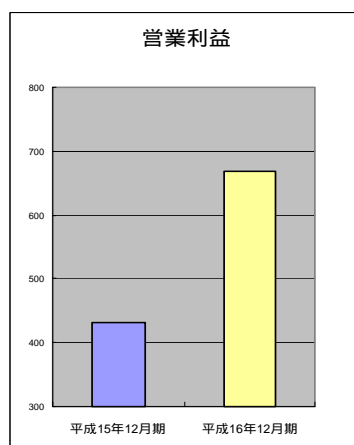
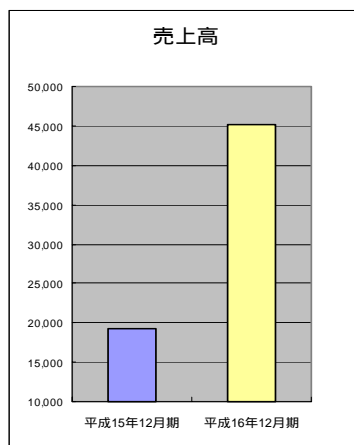
1. 2004年12月期実績概括

1. 2004年12月期実績概括

2004年12月期連結業績

(百万円)

	2003年12月期	2004年12月期	前年同期比
売上高	19,359	45,123	233.08%
営業利益	431	668	154.98%
経常利益	367	663	180.65%
純利益	193	217	112.43%



2. 2004年12月期業績実績



2. 2004年12月期業績実績

2004年12月期決算 損益計算書

(百万円)

科目	2003年12月	2004年12月	FL単体	前年同期比
売上高	19,359	45,123	22,114	233.08%
売上原価	16,915	41,505	21,441	245.37%
販売費及び一般管理費	2,012	2,949	520	146.57%
営業利益	431	668	152	154.98%
営業外収益	12	122	28	1016.66%
営業外費用	76	126	3	165.78%
経常利益	367	663	177	180.65%
税引前利益	379	638	196	168.33%
純利益	193	217	121	112.43%



2. 2004年12月期業績実績

2004年12月期決算 貸借対照表

(百万円)

	2003年度(12/31)	2004年度(12/31)
< 資産の部 >		
流動資産	4,869	14,402
現金及び預金	1,854	5,986
受取手形及び売掛金	2,660	6,986
たな卸資産	84	188
その他	232	444
貸倒引当金	23	53
固定資産	710	8,375
有形固定資産	89	3,875
無形固定資産	72	89
投資その他の資産	548	4,410
資産の部合計	5,579	22,777
< 負債の部 >		
流動負債	3,424	9,438
支払手形及び買掛金	1,786	5,054
設備関係支払手形	0	-
短期借入金	422	1,520
1年内返済予定長期借入金	447	892
未払費用	297	711
賞与引当金		74
固定負債	532	4,072
社債	305	425
長期借入金	220	3,107
退職給付引当金		448
役員退職慰労引当金		-
連結調整勘定		47
その他	7	44
負債の部合計	3,956	13,510
< 資本の部 >		
資本金	313	3,833
資本剰余金	404	3,925
利益剰余金	889	955
その他有価証券評価差額金	1	5
資本の部合計	1,609	8,720
負債、少数株主持分及び資本合計	5,579	22,777



2. 2004年12月期業績実績

2004年12月期連結キャッシュフロー

(百万円)

	2003年12月期	2004年12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	37	295
税金等調整前中間(当期)純利益	379	639
減価償却費	45	660
連結調整勘定償却費	3	39
貸倒引当金の増減額	28	3
新株発行費	4	46
社債発行費	3	12
持分法による投資損益	4	15
有形・無形固定資産除却損	543	19
売上債権の増減額	61	448
その他増減	3	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	784	7,995
有形・無形固定資産の取得による支出	30	1,041
投資有価証券の取得による支出		2,350
連結子会社の取得による支出		3,167
貸付金の回収による収入	20	176
その他増減	6	368
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,290	11,599
短期借入金純増減額	1,030	778
長期借入れによる収入	100	3,900
新株発行による収入		7,395
その他増減		
キャッシュ・フロー合計	469	3,899
現金同等物の期首残高	1,996	1,487
連結子会社の増加に伴う増加		
現金同等物の期末残高	1,487	5,386

3. セグメント動向

3. セグメント動向

セグメント別売上高

(単位:百万円)	2003/12期	2004/12期	前年同期比
物流事業	7,436.725	31,835.195	428.11%
人材事業	3,921.505	4,522.433	115.32%
マーケティング事業	8,541.501	9,275.513	108.59%

FL単体(百万円)	22,114
-----------	--------

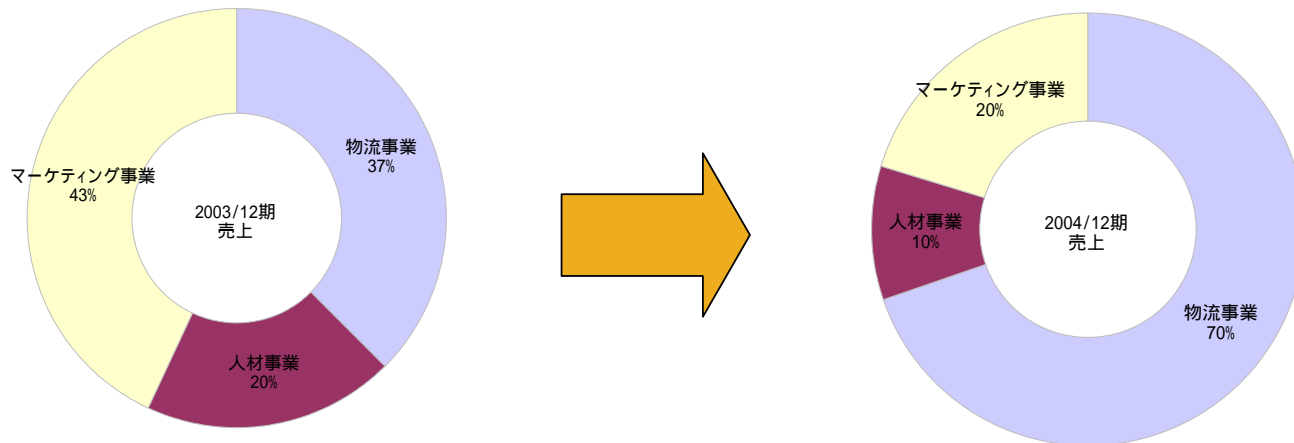
セグメント別営業利益

(単位:百万円)	2003/12期	2004/12期	前年同期比
物流事業	152.758	539.474	354.6%
人材事業	212.406	321.464	151.41%
マーケティング事業	299.846	235.915	78.59%

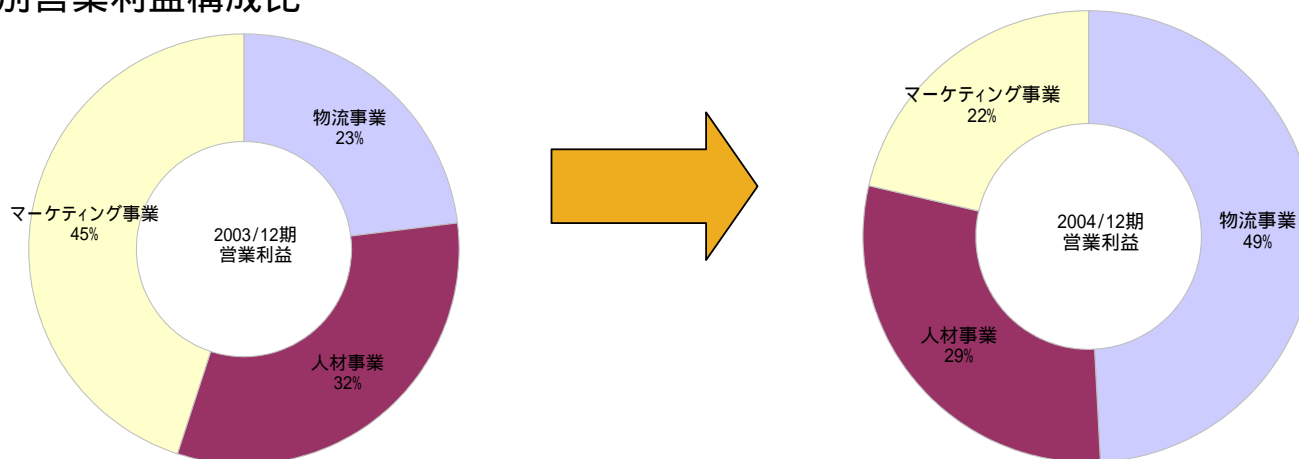
FL単体(百万円)	152
-----------	-----

3. セグメント動向

セグメント別売上構成比



セグメント別営業利益構成比



3 . セグメント動向

■ 物流事業

(実績)

- 雪印物流 (現フーズレック) の買収で売上・利益とも拡大
- フーズレック事業: 6月から連結対象
- チルド物流 夏の猛暑による飲料輸送の増加
 スイーツガーデン等の大口顧客の獲得
- 即配事業: 単価下げ止まりの中、売上拡大で収益性改善

(現状)

- フーズレック事業: 既存ビジネスに加え新規顧客開拓の強化
- 即配事業: 業界淘汰の進展
- ダック・さくら引越センターによる引越事業の規模拡大

3. セグメント動向

■ 人材事業

(実績)

- 企業のアウトソーシングニーズの高まりで好調持続
- 軽作業請負業務：営業所新設効果により売上拡大
- 外注費比率の低下で利益率の向上
- ダック・さくら引越センターへの人材供給

3. セグメント動向

■マーケティング事業

(実績)

- ▶ メーリングサービス: 競争激化による単価下落続く(収益性の低下)
- ▶ エリア調査の案件受託。マーケティング企画事業順調

(現状)

- ▶ メーリングサービスのバーコード管理システムスタート
- ▶ メーリング事業における同業他社との協業の可能性追及
- ▶ ダック・さくら引越センターの共同チラシ配布事業の展開

**単価下落対策、効率性の
追求、新サービスの開発**



**今年下半期より具体的成果
実現を目指す。**

4. 年度業績見通し

4. 年度業績見通し

2005年12月期 連結通期業績予想

(百万円)

	2003年12月期	2004年12月期	2005年12月期 (予想)	成長率 (前年同期比)
売上高	19,359	45,123	68,416	151.62%
経常利益	367	663	1,000	150.82%
当期純利益	193	217	450	207.37%

5.トピックス

5.トピックス

リリース実績

- 2004.04.01 雪印物流株式会社(現 フーズレック株)の買収発表
- 2004.07.15 株式会社ハナマサとの業務提携発表
- 2004.08.06 株式会社ゼロへの資本参加発表
- 2004.08.24 株式会社スイートガーデンの物流業務 一括受託発表
- 2004.08.24 株式会社ビッグバンの買収発表
- 2004.10.15 株式会社エーマックスのカーライルとの共同出資事業発表
- 2004.11.24 株式会社AT&C の買収発表
- 2004.12.07 株式会社ダックの買収発表
 - ・「ダック引越センター」のブランドで認知度の高い企業グループ
 - 物流サービスとマーケティング事業の機能強化の役割
- 2005.02.25 さくら運輸株式会社の買収発表
 - ・株式会社ダックとともに物流サービスとマーケティング事業の機能強化の役割
- 2005.03.04 有限会社栄幸の買収発表
 - ・関東圏において有数の産業廃棄物処理能力量と、周辺環境に配慮した最新の設備を保有
 - ・SBSグループは産業廃棄物中間処理業においてトップレベルの能力と設備を保有することとなる

6. 経営戦略

6. 経営戦略(グループ基本方針)

グループ連結1000億円の達成(2000億円への第一歩)

これに伴い、連結経常利益1.5% 3%台に向上させる(3年以内を目標)

クライアントのリクエストには必ず応える意識の徹底

競業他社に出来て、SBSグループに出来ない事はない

知恵とアイデアを絞って+ のサービスを提供(新しい視点・独創性の追及)

強烈な営業力の展開とグループシナジーの追及

SBSグループの総合力を再確認し、既成概念に囚われない新しい営業スタイルの確立

M & Aの積極展開とグループ内インフラ整備の推進

6. 経営戦略(事業体制)

新規基幹事業の設立と育成

現状の事業セグメントを三本柱から六本柱へ

現在の三本柱

物流事業

- 即日配送・全国配送
- 食品物流・車両輸送
- 海外物流・引越業務

人材事業

- 人材派遣事業
(White Color)
- 業務請負事業
(Blue Color)

マーケティング事業

- マーケティングリサーチ
- セールスポモーション
- Web通販事業等



今後注力して育成する事業分野

金融事業

- リース事業の設立
- 不動産の証券化、流動化
- その他

情報サービス事業

- ウェアハウス・マネジメント・システム(WMS)
- 医療解析システムソリューション
- 物流システム

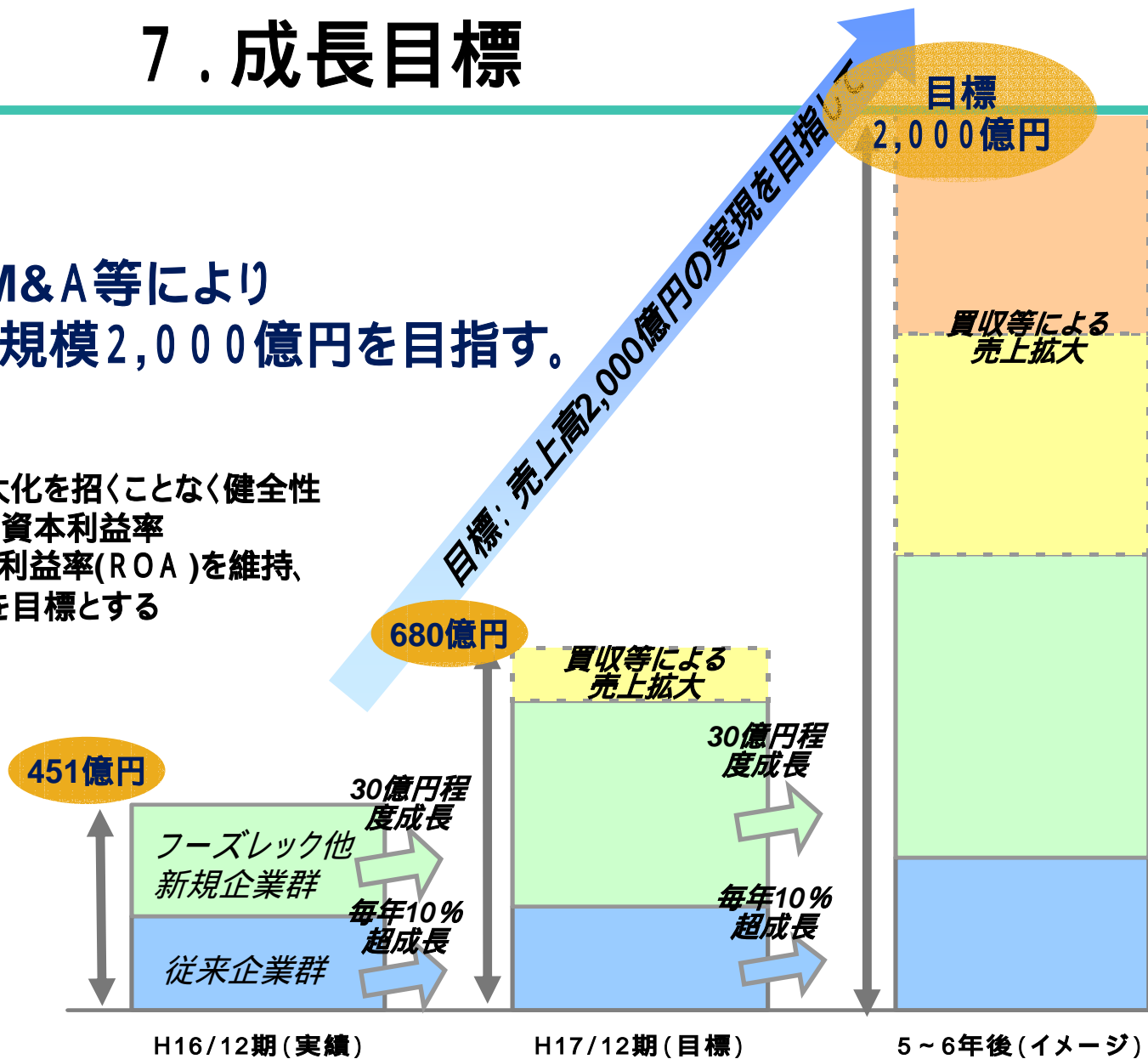
リサイクル事業

- ダック・さくらグループとのコラボ
- 一般家庭の粗大ゴミ回収
- 産廃処理事業の強化

7. 成長目標

内部成長及びM&A等により
5～6年後売上規模2,000億円を目指す。

同時に、財務の肥大化を招くことなく健全性を保つために、株主資本利益率(ROE)及び総資産利益率(ROA)を維持、向上させていくことを目標とする



株式数の推移と配当政策

発行済み株式数の推移

2003年12月のJASDAQ
上場と2004年6月の雪印
物流の子会社化を機に、
積極的に資本の充実を
目指しています。

	増減株式数	総株式数
2003年12月 公募増資 新株発行	2,000	17,810
新株引受権行使	4	17,814
2004年04月 株式分割(1:2)等	17,814	35,628
2004年06月 公募増資 新株発行	5,500	41,128
第三者割当て 新株発行	940	42,068
新株引受権行使	196	42,264
2004年08月 株式分割(1:3)等	84,528	126,792
新株引受権行使	240	127,032

配当政策

株主に対する利益還元を経営の最重要政策の一つ
と位置づけています。事業拡大機会に備え、資本の
蓄積に配慮しつつ業績に応じた安定的な配当を継
続してまいります。

年度	1株あたり配当金
2002	- 円
2003	2,000円
2004	500円
2005(予想)	650円

Duckチラシ配布 (現地指導員による不正チェック)

ポスティング作業風景



現地指導

本部監視員の抜き打ち検査



Duckチラシ配布 (ポスティングの特徴)

引越チラシの対象物件



柔軟な対象物件

柔軟なポスティング地区 (引越トラック使用)



横浜産業廃棄物処理施設 1



施設屋上駐車場

施設外観





施設外観(正面入り口)

施設外観(処理場正面)





処理設備(破碎機)



処理設備(破碎物回収カーゴ)



処理設備(ベルトコンベアと回収カーゴ)

処理設備(ベルトコンベアと選別機)



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

(お問合せ先)

株式会社エスビーエス 経営企画室IR担当

〒131-0034

東京都墨田区堤通1-19-9 リバーサイド隅田セントラルタワー 11階

Tel 03-5655-6110

Fax 03-5655-6180

E-mail : irinfo@sbs-group.co.jp